

監督、フィリップ・トルシエを迎えて

やってみせる・行動で示す

文学部教授 武智 英裕

W杯開幕まで五十日を切った去る四月十二日、日本代表フィリップ・トルシエ監督の、まさかの来学が実現し、学生達と熱い交流の機会が持たれた。講演は、監督の強い意向で、学生との交歓を重視し、その大半を学生からの質問に答えるというかたちで行われ、大盛況を体した。九十分余という短い時間ではあったが、彼から提供された話題には、私自身、学生サッカーに携わる一人として、大変奥の深いものを感じた。紙面の都合で多くを割愛・簡略したが、その時の印象の一部を並べてみた。

偉大な監督は演出家でもある。彼は講演に先立ち、自ら、設営のでき上がった会場のチェックを行う。これは今回に限ったことではなく、いつものことである。細部にわたって、次々

と変更・やり直しの注文が飛ぶ。決してわがままなのではない。これから始まる交流会に向け、その流れを予測し、交歓の成果を最大限に引き出すようにするためである。ちょうどそれは、サッカーのゲームの前のミーティングにも似た、監督としての「器量人の姿」であり、また、学生達に自分のメッセージを最大限に伝えようとする「いいかげんが許せない、生真面目で直向きな、人間トルシエの人格そのもの」でもあった。

やってみせる・行動で示す、ということ。彼が登壇する前、数分間、インパクトの強いトルシエジャパンのビデオがスクリーン一杯に映し出された。「映像には、文字や言葉では語れない多くの説得がある」とする彼の考えによるものである。彼は、「やってみせる・行動で示す」のなから、お互いの理解と信頼を築き合おうとする。そして、監督と選手、選手同士の真の絆は「文字や言葉を越えてこそ在る」と考える。一貫した彼の哲学をかいまみる。

日本代表選手にとつての自信・責任とは。彼は、勝つためには、少しの運も必要だ、しかし、肝心なのは自信だと言う。

そして自信とは、「今までやってきたから、現在がある」という認識を強く持つということ。そしてまた、責任を果たすということは、「勝つために最大の働きをする」ということが確信でき、それができると言うこと」と言い切る。自分のもてこの自信と責任を共有する選手達が育ち、今ここに揃った、と彼は言う。自分が選んだ選手達への信頼は厚い。

ゆるがぬチームワークこそ。ワールドカップサッカーは、世界の国と国とが、国の威信と誇りをかけて戦う大会である。金・銀・銅などのメダル争いではなく、「たった一つのカップ」を、国を挙げて手にしようとする戦いである。W杯で勝つためには、何より二十三人の団結が必要だと強調する。平素から、優れた能力と強い個性を持った選手が、「同じ方向を向き、ゲームの中では、全員が「頭の中で同じことを考えていること」が何より大切と力説する。

大切なのは、選手の人間性である。スポーツ選手は「謙虚」でなければならない。周囲にもはやされると、スター気取りになり、過信して、自分を見失うことがある。日本人は「反省する」という素晴らしい心と文化を持つていないか、と日本人トルシエをのぞかせて、交歓の会をしめくった。

（本学サッカー部顧問）

（8面に関連記事）

HEADLINE

- 3 面 公開講座のお知らせ
- 4・5 面 特集 あなたのキャリアデザインをサポートします
- 6 面 4 研究所の近況紹介
- 7 面 山田沙知子さんが世界新
- 8 面 トルシエ監督講演会

サッカーの
日韓共催ワ
ールドカップの
開幕が迫るに
つて、今年の
西暦を表す
「2002」
がますます新
聞紙上やテレビ画面を賑わ
すようになってきた。この
数字は横書きにすると左右
対称で、中央の「0」が目
で、左右の「2」が耳であ
るのように見えることもな
い。▼ワールドカップ期間
中には世界中から様々な民
族的・文化的背景を持つ多
くのサッカーファンが日本
を訪れることであろう。そ
れが2002年の出来事であ
るといふことから、この
数字がまるで、世界の表情
に目を凝らし、世界の鼓動
に耳を傾けようと語りかけ
ているかのようにも感じら
れる。▼「2002」のよ
うな形は「3003」まで
千年も待たなければならな
い。左右対称だけであれ
ば、10年後に「2112」
となるが、それこそ「ひゃ
くねんたったただだあれもい
ない」（俵万智）であろ
う。この珍しい形の西暦年
に世界のお祭りが身近に行
われることを契機に、たっ
た百年にも満たない時間
の中で巡り合い、時空間を共
有することの意味を、いつ
もよりも深く考えてみた
い。

（加藤 隆）



キャリアプランニングセミナー

皆さんが自分の将来について考え、目標を設定し、実行に移していくきっかけ作りを目的として次のような「キャリアプランニングセミナー」を開催していきます。(日程・詳細については、キャリアデザインルームや就職課前の掲示、KIPSで確認してください。)

- I. ベーシックシリーズ
「メッセージ～あなたは夢を語れますか?～」 「自分の性格を知ろう」 「職業興味・適性を知ろう」 「職業の世界を知ろう」 「キャリアプランを立てよう」
- II. なるにはシリーズ
「国家Ⅰ種・Ⅱ種」 「労働基準監督官」 「地方上級」 「国税専門官」 「航空管制官」 「海上保安官」 「税関職員」などを予定しています。
- III. 資格取得について考える
「資格は就職に有利か」 「関西大学における資格取得支援講座について」
- IV. 大学院進学について考える
「大学院で何が学べるか～修了後の進路について～」
- V. 海外留学について考えるシリーズ
「夏期語学セミナーの説明を中心に、留学に関する一般的なガイダンス」 「本学交換留学制度・留学経験者による体験談等のガイダンス」
- VI. 起業について考えるシリーズ
「株式会社パソナグループ代表 南部靖之氏講演」 「大阪府商工労働部・大阪府立産業開発研究所研究員による講演」
- VII. インターンシップについて考えるシリーズ
「国際インターンシップ説明会」 「インターンシップってなに?」 「インターンシップ募集に関する説明会」
- VIII. NPO・ボランティアについて考えるシリーズ
「NPOってなに?～その役割と意義～」

平成14年度の就職活動状況

平成14年度においても、企業から学生へのアプローチは早い時期から始まりました。採用情報をインターネット上で公開を始める時期も、昨年より早くなり13年11月頃から始める企業があったほか、一部の企業が業界セミナーと称して、学生向けのセミナーを13年の12月に開催したケースもありました。本学でも12月17日に近畿・首都圏以外に本社が所在する企業を招き、「地域有力企業情報交流会」(学内合同企業セミナー)を開催し、1月の学年末試験終了後、企業の人事採用担当者を大学に招き、企業説明会を本格的に開催しました。

学生は、2月中旬頃から企業が主催するセミナーに参加するようになり、3月頃から筆記試験や面接を受け始め、3月下旬には都市銀行や保険業界、製薬業界の企業から内々定をもらったとの報告を受けています。その後、順次、メーカーや流通等の他業界でも内々定が出ているとの報告もあります。

平成13年度の主な就職先(大学院生を含む)

文科系		工学部	
社名	人数	社名	人数
大阪府警察官	30名	松下電器産業	15名
UFJ 銀行	28名	国家公務員Ⅱ種	10名
安田生命保険	25名	積水ハウス	9名
日本生命保険	20名	三菱電機エンジニアリング	9名
富士火災海上保険	18名	一栄工務店	9名
国家公務員Ⅱ種	16名	日立製作所	8名
日本電気	16名	船井電機	8名
京都中央信用金庫	14名	日立システムアンドサービス	7名
尼崎信用金庫	13名	大和ハウス工業	6名
日興コーディアル証券	13名	トステム	6名

この他、巨大企業(従業員数3,000名以上)、大企業(従業員数500～3,000名)に約60%の学生が就職している。

KIPSを活用しよう!

<http://kupl.pl/kansai-u.ac.jp/kips/index.html>

KIPSとは、Kansai University Information Placement Systemの略称です。

このサイトでは、約23,000社の企業情報がデータベース化されており就職活動に欠かせないものとして活用されてきました。最近では、公務員関係情報、インターンシップやキャリアプランニングの情報も充実させ、1年次生にとっても利用価値の高い内容となっています。関大生なら誰でも利用できるようになっています。まずは気軽にのぞいてみましょう。

TOEIC試験

国際コミュニケーション英語能力テスト。この得点で英語の能力を測り、採用、人事異動、昇進の条件とする企業は増えています。TOEICの一般公開テストは年間7回(1・3・5・7・9・10・11月)実施されていて、受験料6,300円(税別)を支払えば個人で申し込みが可能です。また、就職課でもIPテストを年間数回、受験料3,000円で実施しています。平成14年度の第1回TOEIC IPテストは、千里山キャンパスでは6月12日(水)に、高槻キャンパスでは6月19日(水)に実施されます。

教員採用試験対策講座(有料)

平成14年度から、教員をめざすみなさん(卒業生を含む)を対象に対策講座を開講しています。これは正規の授業とは別に実施している特別講座で、教員採用試験に合格するためのノウハウをさまざまな角度から学習できる内容になっています。受講生の募集に関する詳細はキャリアデザインルームや就職課前の掲示、KIPSで確認してください。(詳細は7月頃に決定する予定です。)

就職課は就職活動をする4年次生を対象としているのではありません。入学したばかりの1年次生でも、もちろん利用することができます。また、クラブやサークル活動に熱中している人、アルバイトで忙しい人、ゼミや研究に専心している人の中にも、自分の目標が見つからずに悩んでいる人もおられると思います。就職課ではキャリアデザインという観点から、あなたの学生生活を見直し、まだ充実させてきつかけを提供します。

あなたのキャリアデザインをサポートします

インターンシップ

「学生が、在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う」インターンシップ。アメリカでは、企業の採用活動と密接に結びついており、新卒の約7割以上の学生が体験するものだそうです。日本においては、文部科学・経済産業・厚生労働の各省が連絡会・研究会を設け、企業や大学の活動に対して大いに助成・推進しています。現に大手電器メーカーには、昨年からインターンシップ経験を踏まえて採用する制度があります。今後ますます採用直結型のインターンシップを取り入れる企業は増え、就職活動における影響が大きくなると考えられます。

イメージと実社会における仕事のミスマッチによる転職者が増えている今日において、インターンシップに期待される役割は、みなさんにとっても企業にとっても重要なのです。就職部では、3年次生(理系は大学院生も対象)を対象にインターンシップを実施しています。インターンシップ募集に関する説明会(3年次生対象)を5月21日～23日に開催しますので、関心のある方はぜひ参加してください。(説明会の会場・時間等、詳細については就職課前掲示・KIPS、インフォメーションシステムで確認してください。)



キャリアデザインブック

(2・3年次生は成績発表時に、
新入生は入学時に配付済)

「キャリアデザイン」って聞きなれない言葉ですか? でも、一度は「将来どのような職業に就こうか」「どのような生き方をしたいか」と考えたことがあるはず。...これが「キャリアデザイン」の第一歩なのです。

とはいえ、就職難と言われて約10年、みなさんが楽観的に将来の夢を口にしにくい昨今であることも現実。だからこそ就職をはじめとした自分の進路に目標を持ち、自由な学生生活を有意義に過ごすことが、今のみなさんに必要なこと「キャリアデザイン」なのです。

さあ、キャリアデザインブックを開くことから始めましょう。皆さんの様々な将来に合った大学の支援体制、夢への手がかりなど、今からの大学生活にもうひとつ意味を加え、より充実させるヒントがあるはずです。

エクステンション・リードセンター

学生時代に資格を取得したり、特技を身につけることは、将来の進路を大きく開く鍵になります。エクステンション・リードセンターでは、語学、情報処理、司法試験、公務員試験、簿記検定、公認会計士入門講座といった講座から、各種資格試験対策講座までキャリアデザインを支援する豊富なメニューと充実したサポート体制で受講生の目的や目標に細かく対応しています。



キャリアデザインルーム(進路支援室)OPEN!

進路に不安を抱いている人、どんな職業があるのかわからないという人、なりた職業があるけれど、どのように就職活動をするかわからない人、教員・公務員をめざす人...そんな関大生は、いつでもキャリアデザインルームを訪ねてみてください。この部屋では、

- ①教員、公務員関係資料の閲覧
 - ②職業適性診断システム「In☆Sites2000」などの適性検査
 - ③進路全般に関する情報収集・悩み相談等ができます。場所は、千里山キャンパス新関西大学会館 北棟3階です。
- <開室時間>
○教職に関する相談：水曜日・木曜日(14:00～18:00)
○キャリア相談：火曜日(10:00～18:00)／金曜日(10:00～19:00)
※高槻キャンパスでは、毎週火曜日の13:30～17:30に教職に関する相談のみを行っています。
なお、臨時に開室時間を変更することがありますので、掲示等には注意してください。

<キャリアデザインアドバイザー紹介>

福山 勇先生(教職相談)
大阪府教育委員会の指導主事、高等学校の校長職、教育事務所長等を経験後、教育コンサルタントとして活躍。本学の非常勤講師も勤め、キャリアデザインルームでは、教職を目指す学生の様々な相談に応じています。
伊東 真行先生(教職以外のキャリア相談)
大阪府職業カウンセリングセンターのカウンセラー、児童相談所の心理職を経て、ライフデザイン・カウンセリングルームを設立。臨床心理士。本学の非常勤講師も勤め、キャリアデザインルームでは、教職以外のキャリア相談を担当しています。
川崎 友嗣先生(キャリア相談)
キャリアデザイン担当主事、社会学部助教授。職業指導、職業指導科教育法などの講義科目を担当。日本労働研究機構でキャリアガイダンス研究担当研究員を経験。教職以外のキャリア相談を担当しています。

「わざ」を身につけよう

就職部長 野村幸正

「自分が羊だと思い込んでいるなら、そんな錯覚は振り捨てよ」。これはイギリスによるインドの支配が全土に及んだころ、ヒンドウの改革者が未来を若者に託しての言葉である。

若獅子たちがすべきことは、學問を媒体にして、社会とかかわる「わざ」を身につけることである。それは何かに打ち込み、以前とは違った自分に出会うなかではじめて可能となる。大学の教育はすべてこのためにあるのではないか。

ところが、現実には、教育力の低下か、社会状況の反映か、単位を揃えても自分が社会とどのようにかかわってゆくのかわかり、その手掛かりさえ掴んでいない学生も少なくない。

就職部は、4年次生に対する就職支援から、下位年次生のキャリアの育成に機軸を移している。これは大学教育に対する新たな提案でもあり、実践でもある。われわれは学生諸君が可能性に挑戦し、豊かに自己を涵養し、新たな社会の構築に参加されることを願うものであり、そのための支援を惜しむものではない。

(文学部教授)

就職支援行事(平成14年度)

「キャリアプランニングって?」「就職活動できるの?」そんな疑問を持っている皆さんも、自分の将来について早い時期から考えて目標設定し、それに向かって努力していくことの重要性はおわかりでしょう。就職部では「キャリアプランニング」や「就職活動」の支援の一環として、次のような行事を開催しています。対象は1年次生以上。詳細は、就職課の掲示板で確認してください。(全ての行事は就職課ホームページのKIPS「お知らせ」でも確認できます。)

4・5・6月■キャリアプランニングセミナー

- (1) ベーシックシリーズⅠ～Ⅴ
- (2) 海外留学について考える
- (3) なるにはシリーズ(公務員)
- (4) 大学院進学について考える
- (5) 資格取得について考える
- (6) NPO・ボランティアについて考える
- (7) 起業について考える～
①株式会社パソナグループ代表南部靖之氏 講演会
②大阪府商工労働課による講演会

■インターンシップ関係行事

- (1) 実習生募集に関する説明会
- (2) 申込者面談
- (3) 実習生オリエンテーション
- (4) 事前講座(ビジネスマナー・プレゼンテーション他)

7月 ■第1回就職ガイダンス～就職活動の基礎の基礎～準備編

9月 ■第2回就職ガイダンス～今年度の採用の動向は? 何をすればいいの?～対策編

10・11月 ■テマ別ガイダンス

- (1) 「自己分析」から就職活動がはじまる
- (2) 企業研究Ⅰ～業界・企業情報の収集
- (3) 企業研究Ⅱ～財務データの読み方
- (4) 自己PRのコツ
- (5) インターネット活用術
- (6) 先輩訪問で生きた情報を手に入れる
- (7) ビジネスマナー・プレゼンテーション

■業界研究会～業界ごとに、①民間シンクタンクによる説明、②それぞれのリーディングカンパニーから講師を招いての講演、③それぞれの内定者による講演です。業界研究に役立てよう!

■模擬試験・適性検査～就職試験でおなじみのSPI、一般常識、エントリーシート、情報処理適性試験などに挑戦できます。(有料)

12月 ■第3回就職ガイダンス～さあ、動き出しましょう! 模擬面接～体験! 面接の雰囲気を感じよう

■有力企業情報交流会～合同企業研究会
■企業研究会～業界のリーディングカンパニー、隠れた優良企業など、百数十社の生講演。

■合同企業研究会・On Campus RecruitingⅠ～一日100社以上の人事担当者が関大にやってくる! 採用担当者と直接話ができます。

■模擬面接～面接試験直前の力試し
■模擬試験・適性検査～SPI、一般常識、エントリーシート、情報処理適性試験など試験直前の力試し。(有料)
■各種公務員受験説明会
■On Campus RecruitingⅡ

3月～

4月～

関大通信 第299号

平成14年(2002年)5月15日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/

期待と興奮と感動と

トルシエ監督講演会

我々サッカー部も 大会でがんばるぞ

体育会サッカー部
主務・清水拓也

トルシエ監督が関西大学に来られると聞き、正直驚いた。W杯直前のこの時期に、講演のために関西大学に来られるのが信じられなかった。

トルシエ監督の会場入り直前に、ステージ上のスクリーンに日本代表の練習風景が映し出されると、気持ちが高ぶってきているのが分かった。我々サッカー部はステージのすぐ前に席を確保していただき、興奮を押さえることができなかった。

講演が始まると一言一句聞き漏らさないように全員が集中して聞いていた。W杯メンバーや戦術の話になるとトルシエ監督の話にも熱が入っていた。

我々サッカー部もトルシエ監督と日本代表の気合に負けずに、リーグ・大会をがんばります。
(経済学部4年次生)



外国語教育研究機構
教授 菊地歌子
4月12日午前11時過ぎに、
フリップ・トルシエ監督
一行が到着口のロビーの階
段を下りて来た。握手を
し、名を名乗ったとたん
に、「司会進行はあな
た？」と大学までの車の中
で打ち合わせをした。と実
質的な話が始まった。
そのままだ大学の公用車
のトルシエ監督の隣に座ら
れ、打ち合わせが始まっ
た。冗談を交えながら詳細
を詰めていく。まさにこの
人は監督だ。

全体のバランスを 重視する繊細な人

本番までの短い時間に
昼食を済ませるために立
ち去りながら、最後に一
言「ここに小さな花を置
いてはどうでしょう。あ
くまでも全体のバランス
を重視しながら、非常に
繊細な気配りの人なの
だ。」



フランス語で質問 回答を日本語訳に

文学部フランス語フランス文学科3年次生
久保田征鑑

私はフランス語フランス文学科生です。フランス語で質問する幸運を与えられ、「Quel a été le match de l'équipe du Japon le plus impressionnant pour vous pendant ces quatre ans? (監督にとって就任以来どの試合が最も印象的でしたか)」と質問しました。フランス語で直接回答をもらえると期待していましたが、意外なことに答えを日本語に訳すように言われ、とてもあわてました。

しかし、テレビで見慣れた様子とはちがひ、分かりやすい表現と口調、そして暖かく包み込むような雰囲気の中で話されたので、安心して会場一杯の観衆の注目を浴びながらもしっかりと訳すことが出来ました。

また回答の中で「アジアカップ」を挙げられたのも期待通りでした。このように素晴らしい監督の指揮の下だからこそ日本代表がここまで大きく成長したのだと納得し、ワールドカップへの期待がますます大きくなりました。

視野ぐんと広がる 可能性教えられた

文学部フランス語フランス文学科2年次生
奥山幹子

トルシエ監督との交流会で本物の監督が自分の目の前で話しておられるのを見た事に感激しています。交流会はサッカーがテーマであり、スポーツは言葉を越えた万国共通の話題と考え、フランス語との関連性には気付かずにいました。ところが、質疑応答になり、仏文の先輩がフランス語で質問し、監督の答えを日本語にしていたのを見て、フランス語が話せる事のすばらしさを実感しました。監督が自身の母国語で直接語られた事を通して、私が今まで見てきた視野がぐんと広がる可能性を教えられたように思います。

今回の交流会は、トルシエ監督という今をときめく人が、フランス語で私達に直接語りかけてくださった事で、フランス語をもっと話したい、もっと学びたいという意欲を持つことができた貴重な機会でした。次にこういった機会があれば、通訳を介してではなく、絶対に直接理解できるようになっていたと思います。トルシエ監督が、今のこの時期に関大まで来てくださった事を、深く感謝しています。

KUカレンダー

- 5月16日(木) ◇院・博士前期学内進学試験 (筆記=文・商・社、口頭=商)
- 17日(金) ◇On Campus Recruiting II
- 18日(土) ◇院・博士前期学内進学試験 (筆記=外国語教育学)
- 19日(日) ◇情・在学生父母キャンパス見学会 (高槻キャンパス)
- 20日(月) ◇教育後援会総会・学部別教育懇談会
- 21日(火) ◇院・博士前期学内進学試験 (口頭=法・経・外国語教育学)
- 22日(水) ◇院・博士前期学内進学試験 (口頭=文・社)
- 23日(木) ◇夏期英語・中国語・ドイツ語語学セミナー申し込み締切
- 24日(金) ◇インターンシップ募集に関する説明会 (千里山)
- 25日(土) ◇日本育英会(第一種・第二種)奨学生受領資格確認(24日まで、きぼう21プラン及び平成12年度以降採用の第一種奨学生を除く)
- 26日(日) ◇インターンシップ募集に関する説明会 (高槻)
- 27日(月) ◇インターンシップ募集に関する説明会【理系対象】(千里山)
- 28日(火) ◇インターンシップ募集に関する説明会 (千里山)
- 29日(水) ◇キャリアプランニングセミナー/起業について考える【大阪府商工労働課】(千里山)
- 30日(木) ◇人権研公開講座 小林文広委員研究員「都市の近世と近代」
- 31日(金) ◇院・博士前期学内進学試験 (筆記、口頭=情)
- 6月1日(土) ◇高槻キャンパス祭
- 2日(日) ◇キャリアプランニングセミナー/起業について考える【大阪府商工労働課】(千里山)
- 3日(月) ◇キャリアプランニングセミナー/バーシックスシリーズV (千里山)
- 4日(火) ◇院・博士前期学内進学試験 (筆記=工)
- 5日(水) ◇院・博士前期学内進学試験 (口頭=工)
- 6日(木) ◇大学昇格記念日
- 7日(金) ◇テクノパワー2002 in OSAKA (12:30 100周年記念会館)
- 8日(土) ◇文・就職セミナー (13:00 第1学舎AV-B教室)「働くこと生きること」読売新聞大阪本社論説委員・永井芳和氏
- 9日(日) ◇経政研公開講座 (13:00 尚文館生涯学習講義室)「長期波動から見た21世紀」岡田光正委員研究員
- 10日(月) ◇経政研産業セミナー (13:10 阪急ランドビル)「現代中国の経営と会計」商・水野一郎教授「ネットワーク時代と知識コミュニティ」情・施學昌助教授
- 11日(火) ◇院・博士前期学内進学試験 (口頭=文)
- 12日(水) ◇院・博士前期学内進学試験 (口頭=文)
- 13日(木) ◇院・博士前期学内進学試験 (口頭=文)

次号は6月15日発行の予定です

第25回総合関関戦開催迫る

今大会で25回目を迎える恒例の総合関関戦がいよいよ6月27日(木)から3日間、関大の千里山キャンパスにて開催される。通算成績は、本学が13勝11敗と勝ち越してはいるものの、最近の7年間で1勝6敗と劣勢にあるため、今年こそはと雪辱に燃えている。また、一般市民、学生等の多数が参加して行われる「第23回大島鎌吉記念・健回マラソン大会」は、29日(土)に関西大学千里山キャンパスにて行われる。(学生部)



今月の表紙

武智英裕(たけち・ひでひこ)教授 専門は体育社会学(サッカー)。「球技選手の体力に関する研究」「運動選手の動作反応時間に関する研究」「フイギユアスケートのトレーニングに関する研究」など論文も多い。日本体育学会評議員・大阪体育学会理事・関西学生サッカー連盟特任理事・本学サッカー部顧問。



編集後記

不況で就職難と言われながらも、一人で何社も内定をとる学生がいる。彼・彼女たちに共通しているのは、職に就くという事についてしっかりと考えをもっている上、その自分の考えを的確に他者に伝える表現力をもっているという事である。こうした考えや表現力は、四年次生になって急に身につくものではない。日々の学生生活をいかにすすめるかにかかっている。本号の「就職特集」は、現役学生ばかりではなく、教育後援会総会に出席するために来学されたご父母にも読んでいただけるよう企画されたものである。トルシエ監督来学、山田選手世界新記録の話とともに、世代間対話のきっかけになれば幸いである。(小川博司)

時間	種目	場所
6月27日(木)		
12:00	開会式	中央グラウンド
13:00	野球	北グラウンド
13:00	卓球	東体育館第1体育室
13:00	バドミントン	東体育館第1体育室
13:00	レスリング	東体育館第2体育室
15:00	ホッケー	中央グラウンド
15:00	少林寺拳法	中央体育館サブアリーナB
6月28日(金)		
8:00	ゴルフ	太平洋クラブ
10:00	バスケットボール	中央体育館メインアリーナ
10:00	馬術	馬術場
12:00	軟式野球	北グラウンド
12:00	合気道	中央体育館サブアリーナB
13:00	バレーボール	東体育館第1体育室
14:00	ラグビー	中央グラウンド
14:00	古武道	中央体育館サブアリーナB
6月29日(土)		
9:00	ハンドボール	中央体育館メインアリーナ
10:00	器械体操	東体育館第1体育室
10:00	ボクシング	ボクシング場
10:00	射撃	射撃場
11:00	健康マラソン大会	千里山キャンパス周辺
12:00	フェンシング	東体育館第3体育室
12:00	拳法	中央体育館サブアリーナB
12:00	空手道	凱風館3F道場
13:00	アーチェリー	アーチェリー場
13:00	相撲	相撲道場
14:00	柔道	中央体育館サブアリーナB
14:00	剣道	中央体育館サブアリーナB
17:30	閉会式	中央グラウンド